
TVCML2.0 改訂提案の考え方と概要

2010.02.16

< 提案の考え方 >

- 各自治体提供のデータに上位システムに起因する揺れが発生
- 「方言」を極力防ぐための改訂が必要
- 公共情報コモンズの開始で共通フォーマットの位置づけ明確化

< 提案の概要 >

- 現行のTVCML 2.0を否定するものでなく、延長線上での改訂

■ 提案の個別内容

- 情報表現ガイドラインの刷新 → 分かりやすい表現に
- システム実装の助けとなるような指針を加える
 - 情報の新規生成・更新・削除について、遷移図を作成
 - 訓練やシステムテストに言及 など

仕様書

- HeadLine要素の出現回数(運用規定)を変更
1回以上 ⇒ 1回
- MonoMedia(外部ファイル)について、ファイル名をユニークにすることを明記
- ループ構造の表記例を修正
- 日時表記についてタイムゾーンを記述しないことを明記
- DTD及びガイドライン表と、本文部の整合性の整理
- FormalName属性値の整理
中部地整、九州地整の事例などを盛り込む

推奨システムガイドライン

- JPEG画像のARIB化の制約を緩和
- CSV形式の外部ファイルの扱いなどについて追記
 - ▶ マスタ情報などをCSV形式で提供することは推奨しない
- 情報の新規生成・更新・削除について、遷移図を作成
 - ▶ 外部ファイルの更新・削除についても遷移図を作成
- 送信側のリトライ処理について言及
- 協議事項として、訓練やシステムテストに言及
- 受信システム側のアクセス制限について言及

情報表現ガイドライン

- 用語の見直し
- 訓練やシステムテストについて言及
 - TLMLを分離することを推奨
- 対象カテゴリの刷新
 - 情報のライフサイクルについても言及
 - 生成単位についても明確な指針を
 - 注意点についても「運用」として項目立て
- 情報項目識別子の整理
 - 略称を使用する、重複を避ける など
- その他、記述例の整理、表現・文言の変更

サンプルファイル

2種のサンプルファイルを作成

- 情報表現ガイドラインの推奨表現に従ったサンプル
(従来のサンプルファイルと同様)
- 情報の変遷に伴う変化をあらわすサンプル
 - 各カテゴリに対し、複数時点でのサンプルファイルを用意
 - 避難勧告・指示情報など、表現が複雑なカテゴリについて、発生から収束までの記述の変化が確認可能
 - RevisionIdの変化なども確認可能